

# 漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

# 漁港漁場月報

平成27年3月15日 発行  
 毎月 1回15日発行  
 編集兼 公益社団法人 全国漁港漁場協会  
 発行人 田中潤児  
 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階  
 電話 東京(5114)9981  
 定価 1部 70円  
 (会員の購読料は会費の中に含む)

## 平成27年度主要漁港漁場関係会議等の予定

開催時期	会議名	開催場所
4月 27日	第14回漁港漁場関係事業担当者会議(検査・災害部門)	農水省会議室
6月 上~下旬	漁港漁場関係工事積算基準講習会	全国4箇所
7月 下旬~8月上旬	漁港漁場管理者研修会	農水省会議室
9月 中旬	平成27年度「漁港・漁場・漁村・海岸」関係担当者会議	農水省会議室
28日~10月2日	漁港漁場整備事業関係技術者育成研修会	東京都特別区
10月 上~11月上旬	積算施工技術部会(地方開催)	全国5箇所
11月 月上旬	磯焼け対策全国協議会	農水省会議室
19日~20日	第14回全国漁港漁場整備技術研究発表会	静岡県
1月 下旬	漁港漁場関係担当課長会議	農水省会議室
3月 中旬	積算施工技術部会(全体会議)	農水省会議室



27年度予算等について説明が行われた

## 水産庁

平成26年度

# 漁港漁場関係担当課長会議を開催

水産庁は、2月17日、農林水産省7階講堂において、平成26年度漁港漁場関係担当課長会議を開催し、都道府県漁港漁場整備担当課長ら関係者約90名が出席した。

会議は、本川一善水産庁長官の「東日本大震災から4年が経過するが、復旧・復興に当たっては、人員配置が厳しい中にもかかわらず、職員の派遣等色々な協力を頂いたことに対して感謝申し上げる。今後とも復旧・復興に全力で取り組んでいくが、水揚げがあっても販路がないなど復興にはまだ道半ばである。今後とも都道府県におかれても人的協力、技術的協力をお願いしたい。」

平成26年度の補正予算、27年度当初予算については、予算の伸びが良くないにもかかわらず、必要な予算は確保できた。この数年、必要な予算は確保できているので、地元からの要望にも応えられるものになったと思う。

第三に、国土強靱化のために防災・減災対策を進めてもらいたい。復旧・復興事業の実施を見ても、陸揚げ岸壁などに比べて、防波堤の復旧が遅れている。今後も他府県からの人材派遣を引き続きお願いしたい。

東海トラフを始めとした大規模な地震や津波の対策に向け、老朽化施設への対応など強度の向上を図り、防災・減災対策に取り組みてもらいたい。

地方創生が始まっている。地方は高齢化が進んでおり、これからも漁村で安心して生活できるようにしていきたい。

浜プランも申請が500地区を超えており、水産庁としても応援するが、皆さんも地域の相談に耳を傾けて頂きたい。平成28年度で現在の長期計画が終了することに伴い、27年度から次期長期計画に向けた検討が始まるが、皆さんをはじめ各地のご意見を聞きながら進めていきたい」と述べた。

引き続き、各課の説明に移り、最初は中泉昌光計画課長より計画課所管業務の説明があり、各担当官が計画課予算等について説明を行った。

平成27年度予算概算決定の概要(水産基盤整備事業)

- 水産多面的機能発揮対策事業
- 水産基盤整備調査
- 水産基盤整備事業に関する計画

次に、岡員行整備課長より整備課所管業務の説明があり、各担当官が整備課所管業務等について説明を行った。

平成27年度整備課所管予算

- 漁港施設等の老朽化対策
- 漁港施設の地震・津波対策
- フロンティア漁場整備事業
- 水産基盤整備事業に係る実施上の留意点
- 会計実地検査

「浜の活力再生プラン」についても、500を超えている申請が上がっており、すでに多数のプランが承認されている。皆さんの協力が必要なプラン

へ対応など強度の向上を図り、防災・減災対策に取り組みてもらいたい。

地方創生が始まっている。地方は高齢化が進んでおり、これからも漁村で安心して生活できるようにしていきたい。

浜プランも申請が500地区を超えており、水産庁としても応援するが、皆さんも地域の相談に耳を傾けて頂きたい。平成28年度で現在の長期計画が終了することに伴い、27年度から次期長期計画に向けた検討が始まるが、皆さんをはじめ各地のご意見を聞きながら進めていきたい」と述べた。

引き続き、各課の説明に移り、最初は中泉昌光計画課長より計画課所管業務の説明があり、各担当官が計画課予算等について説明を行った。

平成27年度予算概算決定の概要(水産基盤整備事業)

- 水産多面的機能発揮対策事業
- 水産基盤整備調査
- 水産基盤整備事業に関する計画

次に、岡員行整備課長より整備課所管業務の説明があり、各担当官が整備課所管業務等について説明を行った。

平成27年度整備課所管予算

- 漁港施設等の老朽化対策
- 漁港施設の地震・津波対策
- フロンティア漁場整備事業
- 水産基盤整備事業に係る実施上の留意点
- 会計実地検査



真剣に耳を傾ける参加者

「漁村女性の起業」をテーマとして、東海大学の岡員准教授をコーディネーターとし、話題提供者3名、(株)グローバルフィッシュ代表取締役柿澤克樹氏、(株)漁村計画代表岡員行氏、(公)全国漁港漁場協会の6名による総合討論を行った。

第一部の話題提供の演題及び発表者は次のとおり。

①浜の女性たちの挑戦 漁村女性の起業について 東海大学海洋学部准教授 関いずみ

②漁師とあなたの食卓をつなごう!! 漁村女性企業化グループ「めぼる」の取り組み 桑原政子

③牡蠣の家におかせの活動 牡蠣の家 野崎厚子

④女性パワーで夢を大きく 水産物加工と情報発信 石川県漁業協会の代表 新木順子

第二部の討論は、先ず柿澤、富田の両氏から「漁村女性の起業」についての意見が発表され、これに対する参加者からの質問・意見等に対して話題提供者から回答・コメントするという形式で行われた。

話題提供者の主なコメントは次のとおり。

- 賞品の味付けについて、一流シェフに指導
- 鮮魚と違い、一年中販売できるのが加工品の特色である。
- 商品が欧州でのフェアなどへの出展要請があるが、EU規制で現物を持っていくのも難しい。また、グループでやることも多い。
- 加工品の販売だけでなく、漁獲される魚の安さなどを業務用に販売することも今後考えていきたい。
- 1種類の魚に対する複数の食べ方の提案にも取り組んでいきたい。
- 加工品販売などが自分達だけでできなくなってきた場合には、地域を巻き込むことも大事である。地域を巻き込むことによって地域の活性化に繋がると思われる。
- 販売に当たっては、当初の価格設定も大事な要件である。
- 消費者の理解が得られないならば、消費者を地元と呼んで見せたい。交流にまで発展させ、地域づくりに活用するという手もある。
- 漁師というのは気前が良く、安く売ろうとするのが失敗につながる。地元での販売価格と東京での価格は違っている。地元で売るとは、今後は、地域の子育て支援との兼ね合いでの短時間労働の導入や、軽度の障害者の雇用などを考えていきたい。
- 女性の起業は、始める時も重要であるが、閉める時のことを考えながら活動していくことも大事である。

また、質疑応答の内容は次の通り。

○6次産業化・加工へと向かわずに、鮮魚の販売を伸ばしていくことも活動の一つの方向ではないか?

①魚が無駄なく売れば一番良いことだと思いが、漁村女性の起業には、楽しむということもあると思う。しかし、自分がグループのリーダーになるかかなりの覚悟が必要である。孤独な部分もある。ただ、グループでやることの厳しさを覚悟して始めれば、楽しいことも沢山ある。

②素晴らしい魚が獲れど、雑魚が残ることなく、全部を出荷できれば素晴らしいことであるが、現実的には難しく、雑魚についても女性が干物にして家計の収入にしているのが現実。グループで加工品を開発して、それが売れることが楽しいので、販売方法や加工方法にアイデアが出てきたら、そういった小さな活力が浜の元気につながる。

○商品の販売価格は、地元と都市圏では違いますが、漁師というのは気前が良く、安く売ろうとするのが失敗につながる。地元での販売価格と東京での価格は違っている。地元で売るとは、今後は、地域の子育て支援との兼ね合いでの短時間労働の導入や、軽度の障害者の雇用などを考えていきたい。

④女性の起業は、始める時も重要であるが、閉める時のことを考えながら活動していくことも大事である。

続いて、木島利通防災課長より防災漁村課所管業務の説明があり、各担当官が防災漁村課所管業務等について説明を行った。

予算の概要等

- 平成27年度災害復旧事業予算の概要等
- 離島漁業再生支援交付金(漁村分)
- 強い水産業づくり交付金

・浜の活力再生プラン等支援事業

- 農山漁村地域整備交付金(漁村分)
- 強い水産業づくり交付金

性なので、今後は事業の継続(商品を切らすことがない)ということが大事だと思ふ。

また、質疑応答の内容は次の通り。

○6次産業化・加工へと向かわずに、鮮魚の販売を伸ばしていくことも活動の一つの方向ではないか?

①魚が無駄なく売れば一番良いことだと思いが、漁村女性の起業には、楽しむということもあると思う。しかし、自分がグループのリーダーになるかかなりの覚悟が必要である。孤独な部分もある。ただ、グループでやることの厳しさを覚悟して始めれば、楽しいことも沢山ある。

②素晴らしい魚が獲れど、雑魚が残ることなく、全部を出荷できれば素晴らしいことであるが、現実的には難しく、雑魚についても女性が干物にして家計の収入にしているのが現実。グループで加工品を開発して、それが売れることが楽しいので、販売方法や加工方法にアイデアが出てきたら、そういった小さな活力が浜の元気につながる。

○商品の販売価格は、地元と都市圏では違いますが、漁師というのは気前が良く、安く売ろうとするのが失敗につながる。地元での販売価格と東京での価格は違っている。地元で売るとは、今後は、地域の子育て支援との兼ね合いでの短時間労働の導入や、軽度の障害者の雇用などを考えていきたい。

④女性の起業は、始める時も重要であるが、閉める時のことを考えながら活動していくことも大事である。

平成26年度 漁村女性セミナー開催

全国漁港漁場協会 漁村女性の起業テーマに

（公社）全国漁港漁場協会は、2月25日（水）午後1時30分より東京都千代田区の全日通ビル会議室において、平成26年度漁村女性セミナーを全国の漁村女性等50名の参加を得て開催した。

今年度のセミナーは、テーマを「漁村女性による起業」とし、第一部では、漁村女性による起業の総合的な内容と事例紹介を内容とした4題の話題提供が行われた。

第二部において話題提供者を受けた上で「漁村女性による起業」をテーマとして、東海大学の岡員准教授をコーディネーターとし、話題提供者3名、(株)グローバルフィッシュ代表取締役柿澤克樹氏、(株)漁村計画代表岡員行氏、(公)全国漁港漁場協会の6名による総合討論を行った。

第一部の話題提供の演題及び発表者は次のとおり。

①浜の女性たちの挑戦 漁村女性の起業について 東海大学海洋学部准教授 関いずみ

②漁師とあなたの食卓をつなごう!! 漁村女性企業化グループ「めぼる」の取り組み 桑原政子

③牡蠣の家におかせの活動 牡蠣の家 野崎厚子

④女性パワーで夢を大きく 水産物加工と情報発信 石川県漁業協会の代表 新木順子

第二部の討論は、先ず柿澤、富田の両氏から「漁村女性の起業」についての意見が発表され、これに対する参加者からの質問・意見等に対して話題提供者から回答・コメントするという形式で行われた。

話題提供者の主なコメントは次のとおり。

- 賞品の味付けについて、一流シェフに指導
- 鮮魚と違い、一年中販売できるのが加工品の特色である。
- 商品が欧州でのフェアなどへの出展要請があるが、EU規制で現物を持っていくのも難しい。また、グループでやることも多い。
- 加工品の販売だけでなく、漁獲される魚の安さなどを業務用に販売することも今後考えていきたい。
- 1種類の魚に対する複数の食べ方の提案にも取り組んでいきたい。
- 加工品販売などが自分達だけでできなくなってきた場合には、地域を巻き込むことも大事である。地域を巻き込むことによって地域の活性化に繋がると思われる。
- 販売に当たっては、当初の価格設定も大事な要件である。
- 消費者の理解が得られないならば、消費者を地元と呼んで見せたい。交流にまで発展させ、地域づくりに活用するという手もある。
- 漁師というのは気前が良く、安く売ろうとするのが失敗につながる。地元での販売価格と東京での価格は違っている。地元で売るとは、今後は、地域の子育て支援との兼ね合いでの短時間労働の導入や、軽度の障害者の雇用などを考えていきたい。
- 女性の起業は、始める時も重要であるが、閉める時のことを考えながら活動していくことも大事である。

また、質疑応答の内容は次の通り。

○6次産業化・加工へと向かわずに、鮮魚の販売を伸ばしていくことも活動の一つの方向ではないか?

①魚が無駄なく売れば一番良いことだと思いが、漁村女性の起業には、楽しむということもあると思う。しかし、自分がグループのリーダーになるかかなりの覚悟が必要である。孤独な部分もある。ただ、グループでやることの厳しさを覚悟して始めれば、楽しいことも沢山ある。

②素晴らしい魚が獲れど、雑魚が残ることなく、全部を出荷できれば素晴らしいことであるが、現実的には難しく、雑魚についても女性が干物にして家計の収入にしているのが現実。グループで加工品を開発して、それが売れることが楽しいので、販売方法や加工方法にアイデアが出てきたら、そういった小さな活力が浜の元気につながる。

○商品の販売価格は、地元と都市圏では違いますが、漁師というのは気前が良く、安く売ろうとするのが失敗につながる。地元での販売価格と東京での価格は違っている。地元で売るとは、今後は、地域の子育て支援との兼ね合いでの短時間労働の導入や、軽度の障害者の雇用などを考えていきたい。

④女性の起業は、始める時も重要であるが、閉める時のことを考えながら活動していくことも大事である。

